令和３年度第１回炭鉄港推進協議会総会・幹事会合同会議（書面）
次　第

【 議　事 】

１　報告事項

報告第１号　令和２年度事業報告について
・協議会事業（資料１）
・道単費事業（資料２）

報告第２号　令和２年度収支決算報告について（資料３）

報告第３号　令和３年度事業計画について
・道単費事業（資料４）

２　協議事項

議案第１号　令和３年度事業計画（案）について（資料５）

議案第２号　令和３年度収支予算（案）について（資料６）

議案第３号　令和３年度負担金について（資料７）

（別紙）議事の要旨

１　報告事項

（１）　報告第１号　令和２年度事業報告について（Ｐ３～Ｐ２１）

別紙資料１・２のとおり

（２）　報告第２号　令和２年度収支決算報告について（Ｐ２２～２４）

・　支出の部

文化庁へ補助金の返還（令和元年度・令和２年度分）について、文化庁からの補助金返還決定通知が未着のため、令和３年度に繰り越し

（３）　報告第３号　令和３年度事業計画について（道単費事業）（Ｐ２５～２６）

空知総合振興局が道単費で実施する事業計画の報告

２　協議事項

（１）　議事第１号　令和３年度事業計画（案）について（Ｐ２７～３０）

文化庁の内示額に基づき、事業内容を１月総会での報告内容から修正

（１月総会時点の事業総額：39,950 千円→内示後の事業総額：16,250 千円）

【主な修正点】

・　ガイド養成事業：地域間ガイド交流・視察事業の減数、新規印刷物の廃止
・　地域を思ふヒトづくり事業：先進地視察の廃止、意見交換会を事例・研究発表会と併せて実施
・　次世代伝承事業：規模・回数の見直し、新たな制作物の廃止

※道独自事業との連携や、ガイド育成事業初級編、実務者研修への教職員の参加などで補完

・　「地域のお宝」活用促進事業：既存事業イベントとの連携などにより、予算内で実施
・　ツアー・コンテンツ造成事業：コンテンツ造成を来年度以降に持ち越し
・　日本遺産相互連携事業：パネル等を既存のもので対応、出張回数の調整

（２）　議事第２号　令和３年度収支予算（案）について（Ｐ３１）

別紙資料６のとおり

（３）　議事第５号　令和３年度負担金について（Ｐ３２）

別紙資料７のとおり

資料１

令和２年度の取組状況（協議会事業）

【３月末時点の執行済額：23,215,729円】

○ガイド養成事業【事業費：3,499,760円（全額文化庁補助）】

・ガイド技術の向上やネットワーク構築を目的としたツアー視察及び交流会を開催。
・ガイド用テキストを制作。
・炭鉄港ガイド登録簿を作成し、人材情報をリスト化。

○食文化活用普及啓発事業【事業費：6,000,060円（全額文化庁補助）】

・炭鉄港ストーリーに関係する食文化の調査。
・札幌市及び炭鉄港地域における炭鉄港郷土料理フェアの開催。
・炭鉄港グルメを紹介し、地域誘客を促進するパンフレットの制作。

○歴史文化資源調査研究事業【事業費：6,897,880円（全額文化庁補助）】

・構成文化財や関連する食・生活文化等に関する資料収集及び調査を行い、調査研究結果をデジタルアーカイブとして整理。
・パネル等資材を制作し展示。

○カード型リーフレット制作事業

【事業費：2,541,260円（うち1,618,200円文化庁補助）】
・炭鉄港カードの制作。（30種＋コンプリートカード）

○映像制作事業【事業費：3,735,380円（うち2,381,800円文化庁補助）】

・炭鉄港関連産業に従事していた方々等による、当時の仕事内容や生活の様子などの証言を映像資料として制作。

○日本遺産フェスティバル

【事業費：536,120円（うち469,680円文化庁補助）】
・日本遺産フェスティバル（愛媛県今治市）におけるプロモーション。

○日本遺産イベント（幾春別・奔別祭り）用消耗品費

【事業費：5,269円（全額文化庁補助）】
・幾春別・奔別祭り（三笠市）ブース出展用経費。

事業名	ガイド養成事業【完了】
事業費	3,499,760円（全額文化庁補助）

【目的】
　令和元年度から続く炭鉄港ガイド養成事業の２か年目。ガイドによる受け入れ態勢を整備し、来訪者の理解促進及び満足度の向上を図る。

【事業内容】
・令和元年度に新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった相互視察事業に代えて、
　地域間視察事業を感染症に配慮した方法で実施
・ガイド人材情報の集約とリスト化
・ガイド用テキストの制作

《実施状況》
◇地域間視察事業◇
　令和２年９月21日（月・祝）に三笠市内においてガイド向けの視察及び交流会を実施し、炭鉄港エリア及びその近隣エリアから71名が参加。
　参加者に対する事後アンケートでは、来年度以降の継続開催を希望する声が多数あった。

当日プログラム概要
①三笠ジオパーク推進協議会公認ガイドによるガイディングの視察（三笠市立博物館屋内及び野外博物館）
②同日に奔別エリアで開催されていた「三笠ジオパーク×日本遺産「炭鉄港」合同イベント　三笠のお宝を探そう！幾春別・奔別祭り」の会場見学
③NPO法人炭鉱の記憶推進協議会吉岡理事長による炭鉄港講演（炭鉄港が日本遺産となった経緯や、これからの炭鉄港の活用をテーマに）

◇ガイド登録名簿◇
　上記の地域間視察事業会場及びWebにて登録用紙を配布し、令和３年３月末時点で53名の登録があった。事務局より全登録者に連絡済み。

今後の活用方法
・協議会事業に関する意見交換
・一部ガイド人材の総合サイト（R3予定）における紹介
・出前講座（R3予定）での人材活用
・ガイド向け講座（R3予定）の告知
・炭鉄港関連情報の発信
・ガイド用テキストの配布

◇ガイド用テキスト◇
制作部数：3,000部
配布先：各構成自治体及び上記ガイド登録者（３月末時点53名）
※R3年度のガイド養成事業でもテキストとして配布・活用予定

事業名	食文化活用普及啓発事業【完了】
事業費	6,000,060円（全額文化庁補助）

【目的】
　炭鉄港ストーリーと密接に関係する食文化等を調査及び活用することにより、これまで以上に深化させたストーリーの魅力発信によって関心を喚起し現地への来訪を促進するとともに、日本遺産「炭鉄港」の自走化に向けて不可欠となる体制構築及び収益化の土台づくりを図る。

【事業内容】
・炭鉄港ストーリーに密接に関係する食文化（料理、加工食品等）を調査
・上記調査結果に基づいたグルメパンフレットの制作
・上記調査結果に基づいた商材により、~~炭鉄港グルメをテーマとした食のフェアを開催~~
　→新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フェアを中止して集中プロモーションを実施

《実施状況》
◇食文化調査・パンフレット制作◇
　各自治体、観光協会、経済団体の協力の元、情報の洗い出して整理した。
　その情報を元に、炭鉄港グルメの説明と、それを提供している実店舗を紹介し誘客促進する目的に沿ってパンフレットを制作した。

印刷部数：20,000部
　プロモーション開催店舗において優先的に配布し、自治体にも配布した。今後は、各炭鉄港エリアの関連施設や店舗等に設置していく。事務局にてまだ十分な部数を保管しているので、問合せをいただければ提供可能。

◇プロモーション◇
　札幌市及び関連地域の店舗協力により炭鉄港グルメをテーマとした集中プロモーションを実施。実施店舗は北海道スタイル導入を宣言している店舗に限った。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、新たな会場に集客するイベントではなく、店舗の既存客を中心としたアプローチとした。

重点時期：令和３年２月16日(火)～２月28日(日)
※重点期間は上記のとおりだが、多くの店舗で期間終了後もポスター掲出やパンフレット配布に協力をいただいた。

実施内容
①店舗：パンフレット・チラシ配布、ポスター掲出、特製メニューPOPによる炭鉄港めしのPR
②広告：新聞、フリーペーパー、ラジオ、雑誌、Googleリスティング、Facebook、食べログ

事業名	歴史文化資源調査研究事業【完了】
事業費	6,897,880円（全額文化庁補助）

【目的】

炭鉄港の構成文化財や、関連する食・生活文化等に関する資料収集・調査を行い、デジタルアーカイブを構築することにより、貴重な歴史的資源にアクセスしやすい環境を整備するとととともに、資料収集・調査の結果を展示することにより炭鉄港の普及啓発を図る。

【事業内容】

・関連する食・生活文化等に関する資料収集・調査
（構成文化財の現況写真の撮影（一部ドローン撮影）を含む）
・上記資料を閲覧できるデジタルアーカイブの構築
・上記資料を活用した普及啓発用展示資材の制作

《実施状況》

◇資料収集・調査◇

各自治体等に協力を依頼し、資料を一般募集した。自治体、関係機関からも多数の資料提供を受けた。また、構成文化財の現況写真も撮影した（一部ドローン撮影による）。

上記資料を分析・整理し、デジタルアーカイブに掲載した他、一覧資料を作った。

これらの資料は今後、協議会全体で、各種資材制作や外部への写真提供等にも活用していく。

◇デジタルアーカイブ（炭鉄港デジタル資料館）◇

データ版及びWeb版のデジタルアーカイブを構築し、３月に公開した。公開度、複数の新聞で報道され、北海道遺産関係者や教育関係者からも好評を得ている。

総合サイト（R3予定）構築後は、総合サイトにデジタルアーカイブサイトへのリンクを掲載し、閲覧できるようにする。

◇展示資材◇

炭鉄港のぼり、ラック付きパネルを各自治体に納品済み。構成文化財周辺や主要施設での設置の他、イベント時の設置などで活用していく。

事業名	カード型リーフレット制作事業【完了】
事業費	2,541,260円（うち1,618,200円文化庁補助）

【目的】

令和元年度から続くカード型リーフレット制作事業の二か年目。炭鉄港ストーリー及び構成文化財を魅力ある地域資源として発信し、交流人口拡大による地域活性化を図る。

【事業内容】

・構成文化財を題材とした炭鉄港カードの制作

・令和元年度に構成文化財のカードを作り終わった５市町については、それぞれ炭鉄港に関連するカードを１枚ずつ制作

・キャンペーン用のコンプリートカード１種を制作

《実施状況》

◇炭鉄港カード◇

・カード全31種を印刷し、配布場所に納品済

・令和３年度春に配布開始し（配布期間4/29～11/31予定）、新たな炭鉄港カードキャンペーン（R3予定）の実施と併せて普及啓発に活用する。（コロナウイルス感染症に係る社会情勢を鑑み運用）

事業名	映像制作事業【完了】
事業費	3,735,380円（うち2,381,800円文化庁補助）

【目的】

炭鉄港ストーリー及び構成文化財を魅力ある地域資源として情報発信して関心を広げ、ストーリーへの興味を深めることにより、現地への来訪を促進し、さらなる交流人口の拡大による地域活性化を図る。

併せて、「炭鉄港」産業に関する映像資料を、後世まで価値のあるものとして残す。

【事業内容】

・炭鉄港関係の仕事に従事していた方のインタビューを中心とした、40分程度の映像作品を制作

・インタビューについては、映像作品に収録できなかった部分を含めたフルバージョンも納品

《実施状況》

◇映像◇

〇炭鉄港産業等に従事していた１７名の証言を収録

〇動画サイトで公開

・公開日：令和３年４月９日（金）～

・公開サイト：YouTube（１名あたり３～４分程度）

〇DVDの作成

・枚数：150枚

・配布先：炭鉄港推進協議会の関係団体（幹事会、オブザーバー含む）、
構成自治体教育委員会（副読本「おしえて！炭鉄港」の配布対象とした小学校に配布してもらえるよう、所在小学校分の枚数も提供する。）、
札幌市中央図書館（調整中）

事業名	日本遺産フェスティバル【完了】
事業費	536,120円（うち469,680円文化庁補助）

【目的】
　日本遺産に認定されている各地域の団体が一堂に会し、全国の日本遺産の魅力を一体となって発信するとともに、認定地域相互の交流を図り、日本遺産の一層の発展を目指す。

【事業内容】
・日本遺産フェスティバルへのブース出展
・エクスカーション参加
・懇親会参加

《実施状況》
◇日本遺産フェスティバル◇
【ブース実施日】令和２年10月10日（土）10:00～17:00、11日（日）10:00～16:00

【会場】テクスポート今治（愛媛県今治市東門町５－14－３）

【参加者】
（会長・副会長所在市町の他、事務局・NPO法人炭鉱の記憶推進事業団から６名が参加）
・小樽市産業港湾部観光振興室　田中主幹
・室蘭市経済部観光課　丸田課長
・芦別市総務部企画政策課まちづくり推進係　斎藤主任
・夕張市地域振興課地域振興係　熊谷主事
・NPO法人炭鉱の記憶推進事業団　北口事務局長
・北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課　駒井主事

【出展内容】
・パネル展示及びパンフレット等配布物
・体験ワークショップ（石炭重さ当て）
・ノベルティ配布（室蘭ガチャピンバッジ、ペーパークラフト、コールマイン缶バッジ）
・試食及び物販（そらち石炭かりんとう、塊炭飴）
・日本遺産検定（日本遺産連盟主催のクイズラリー）

【その他】
・日本遺産認定団体104団体のうち、68団体が出展。
・来場者は10日(土)3,000人、11日(日)3,500人で合計6,500人。
・PRブースが会場入り口の目の前であったこと、法被やTシャツの団体が多いなかで
　炭鉱マン風での呼びこみを行ったことから、立ち寄る来場者は断ち切れることがなかった。
・本物の石炭の展示に惹かれ、石炭を幼少期に生活で使用していたご高齢の方から、
　石炭を知らない小さなお子さんまで幅広く注目を集めていた。

事業名	日本遺産イベント（幾春別・奔別祭り）用消耗品費【完了】
事業費	5,269円（全額文化庁補助）

【内容】
・幾春別・奔別祭りにおけるブース出展に際し、必要な消耗品の購入

《実施状況》
◇幾春別・奔別祭り◇
【実施日】令和２年９月19日（土）～21日（月）３日間

【会場】奔別炭鉱敷地内（三笠市幾春別）

【出展内容】
炭鉄港推進協議会ブース
・物販

空知総合振興局ブース（参考）
・パネル展示及びパンフレット等配布物
・体験ワークショップ（石炭重さ当て）
・ノベルティ配布（日本遺産クリアファイル）

※協議会として出展した物販ブースの運営に必要な消耗品（消毒液など、合計5.269円）を
　協議会費で購入（全額文化庁補助対象）。

資料２

令和２年度の取組状況について（道単費事業）

【執行額：5,773,406円】

○鹿児島相互交流事業【事業費：1,936,000円】

・鹿児島と北海道の小学生を対象とした学習会及び交流会の実施。

○土産品開発及び旅行商品造成事業【事業費：1,699,500円】

・三笠高校製菓部の生徒と地元製菓製造業者との協働による、土産お菓子の開発。
・札幌発着の一般向け団体旅行及び教育旅行の造成。

○新型コロナウイルス対策普及啓発事業【事業費：382,000円】

・「新北海道スタイル」の周知を目的とした炭鉄港デザインのポスター及びステッカーの作成。

○炭鉄港PRパネル制作事業【事業費：198,000円】

・炭鉄港の普及啓発イベント等において、より効果的な普及活動を行うためのPRパネルの作成。

○炭鉄港現地プロモーション【事業費：273,526円】

・ウポポイ開業（白老町）と併せた現地プロモーション。
・三笠ジオパークとの合同イベント「幾春別・奔別祭り」（三笠市）における現地プロモーション。
・北海道鉄道140年記念『「炭鉄港」を巡る旅』（岩見沢市／岩見沢駅）における現地プロモーション。

○炭鉄港カードPRポスター及びチラシ印刷【事業費：100,000円】

・炭鉄港カードを周知するポスター及びチラシの印刷。

○炭鉄港カード緊急特別キャンペーン【事業費：16,780円】

・カード全23種類の内20種類を集めた方へのプレゼントキャンペーンの実施。

○副読本「おしえて！炭鉄港」増刷【事業費：221,100円】

・「鹿児島相互交流時業」での活用及び既に配布済の各構成市町以外の希望者あて配布による炭鉄港の普及促進を目的とした副読本の増刷。

○炭鉄港PR横断幕製作事業【事業費：499,000円】

・各構成市町間の団結力向上及び来訪者への炭鉄港の更なる普及啓発を目的とした横断幕の製作。

○そらち炭鉱のまちガイドマップ改訂版製作【事業費：447,500円】

・そらち炭鉱のまちガイドマップ改訂版製作に係る監修及び印刷。

事業名	鹿児島相互交流事業【完了】
事業費	1,936,000円

【目的】
　炭鉄港への興味関心を喚起することで炭鉄港を伝承する人材の育成を図るとともに、道外からの交流人口拡大を促進する。

【事業内容】
・炭鉄港の端緒となった鹿児島県と、炭鉄港関連地域の小学生を対象に、
　双方の歴史や文化を学ぶオンライン学習会及び交流会を開催する。

《実施結果》
　北海道４校272名(中学１校144名含む)、鹿児島県５校301名が参加。
　学習会では、各施設からオンライン中継を活用した臨場感溢れる現地紹介や炭鉄港と鹿児島の繋がりについて講師が説明した。
　交流会では、参加した学習会の感想や学習を通して学んだこと、お互いの地域対する質問等、参加生徒同士での交流を実施。また、お互いの地域の名産品の試食として、北海道からはバター飴とメロンゼリー・ハスカップゼリー、鹿児島からは薩摩芋タルトとみかん飴を提供した。
　なお、学習会及び交流会の様子をYouTubeにてLIVE配信を行い、令和３年３月31日まではアーカイブ保存している。

◇学習会◇
１　北海道の小学生向け
　日　時　令和２年10月29日（木）12時50分～13時35分
　発　信　鹿児島尚古集成館（講師：松尾千歳館長）

２　鹿児島の小学生向け
　日　時　令和２年11月９日（月）10時35分～11時20分
　発　信　夕張市石炭博物館（講師：吉岡宏高館長）

◇交流会◇
　日　時　令和２年11月９日（月）11時35分～12時20分

◇参加校◇
　北海道
　夕張市立ゆうばり小（５年生１クラス32名）、美唄市立東小（６年生２クラス48名）、
　美唄市立中央小（４年生２クラス48名）、滝川市立明苑中（１年生144名）
　鹿児島県鹿児島市
　中洲小（５年生２クラス59名）、前之浜小（５・６年生１クラス９名）、
　東昌小（６年生１クラス６名）、玉江小（６年生４クラス145名）、
　鴨池小（６年生２クラス83名）

事業名	土産品開発及び旅行商品造成事業【完了】
事業費	1,699,500円

【目的】

炭鉄港の魅力を道内外の産業遺産・鉄道ファン等へＰＲし、誘客を促進するとともに、経済還元効果を通じた地域活性化を図る。

【事業内容】

・日本遺産「炭鉄港」をテーマとする土産品の開発

・構成文化財を核として各地域の食や独自文化を体験する旅行商品造成

《実施状況》

◇土産品開発◇

来訪者がお土産として購入するような菓子土産として、三笠高校製菓部及びほんだ菓子司(砂川市)と協力しフロランタンをベースとした商品を開発。

商品名やパッケージ案については今後決定。Ｒ３年度は、炭鉄港推進協議会事業で製作する炭鉄港カードの配布場所や道の駅などの各炭鉄港地域拠点施設などの事業者あて売込みを行い、商品化及び販売を目指す。

また、売込みにあたり販売店舗店頭掲示用の情報発信資材等についても道費にて製作する。

◇旅行商品造成◇

炭鉄港地域の食や関連文化を体験できる札幌発着の一般向け団体旅行及び教育旅行を造成するため、各構成文化財周辺地域の旅行商品化に係る現地調査を行い、ツアーを造成。

R3年度以降は、調査結果及び造成したツアーを旅行会社への売込みを行い、商品化を目指す。

事業名	新型コロナウイルス対策普及啓発事業【完了】
事業費	382,000円

【目的】

新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少している公共施設や民間事業所等への入込回復を図り、地域活性化を推進する。

【事業内容】

・当管内のシンボルである日本遺産「炭鉄港」を活用した普及啓発ポスター及びステッカーを作成

※デザイン委託費：140,000円、ポスター及びステッカー印刷代：242,000円。

《実施結果》

1　制作内容

ポスター

ステッカー

◇ポスター◇

仕様：A1版・カラー・コート紙135kg

デザイン中に道ホームページで掲載する「新北海道スタイル」のQRコードを付することで、新しい生活様式の実践に向けて、道民及び事業者に向けて周知。

また、新型コロナウイルス対策の取組内容を自主的に記載する「事業者記入欄」を設け、来場・来客者に向けて当該事業者の取組みを対外的に周知。

部数：1,000枚

◇ステッカー◇

仕様：縦横15cmの正方形・カラー・白PET強粘着再剥離タイプ・UVカットPP加工

「新型コロナウイルス対策中」と記したデザインとし、屋外から明確に視認できるデザイン。

2　配布状況

炭鉄港推進協議会の13構成市町及び商工会、後志総合振興局及び胆振総合振興局あて配布。

市町からは構成文化財や公共施設へ、商工会からは加盟企業等へ配布するよう依頼。

事業名	炭鉄港ＰＲパネル制作事業【完了】
事業費	198,000円

【目的】

日本遺産「炭鉄港」の普及啓発イベント等において、より効果的な普及活動を図る。

【事業内容】

・PRパネル作成

《実施状況》

1　制作内容

パネルA

パネルB

◇パネルA◇

仕様：B0判・カラー・アルミフレーム付き

部数：２枚

◇パネルB◇

仕様：A1判・カラー・片面・厚手フォト光沢紙・ラミネート加工

スチレンボード７mm1

部数：10枚

事業名	炭鉄港現地プロモーション【完了】
事業費	273,526円

【目的】

炭鉄港関連イベント等においてパネル等を活用したプロモーションを実施することにより、炭鉄港の認知度向上及び関係地域への誘客促進を図る。

【事業内容】

ノベルティ購入等

1　ウポポイ開業に伴う現地プロモーション

2　「幾春別・奔別祭り」への出展

3　北海道鉄道140年記念『「炭鉄港」を巡る旅」に併せた岩見沢駅舎でのPRプロモーション

《実施状況》

1　ウポポイ開業に伴う現地プロモーション(108,326円)

・JR北海道駅名標キャラメル　33,966円

・鐵の素クッキー　31,860円

・そらち石炭かりんとう　42,500円

2　「幾春別・奔別祭り」への出展(139,200円)

・COALMINE立坑バッジ　79,200円

・ブース借上げ料　60,000円

3　北海道鉄道140年記念『「炭鉄港」を巡る旅」に併せた岩見沢駅舎でのPRプロモーション(26,000円)

・万字炭山ケーキ　26,000円

事業名	炭鉄港カードPRポスター及びチラシ印刷【完了】
事業費	100,000円

【目的】

日本遺産「炭鉄港」の認知度向上及び各地域への周遊促進を図るため炭鉄港推進協議会が制作した炭鉄港カードの周知により普及促進を図る。

【実施内容】

・炭鉄港カードPRポスター及びチラシ印刷

実施状況》

1　制作内容

ポスター

チラシ（表）

（裏）

◇ポスター◇

仕様：B2判、カラー、片面、コート紙135kg、

部数：100枚

◇チラシ◇

仕様：A4判、カラー、両面、コート紙73kg、

部数：5,000枚

2　配布状況

炭鉄港推進協議会の12市町あて配布

事業名	炭鉄港緊急特別キャンペーン【完了】
事業費	16,780円

【目的】

炭鉄港推進協議会が制作・配布した「炭鉄港カード」に連動したキャンペーンの商品として空知の炭鉄港に関連する記念品を提供することで、炭鉄港の更なる普及を図る。

【実施内容】

・全23種類の炭鉄港カードのうち20種類以上を集めた応募者のうち、抽選で当選した10名に記念品をプレゼントする「緊急特別キャンペーン」を協議会が企画。

・上記キャンペーン用プレゼントとして、空知の炭鉄港の関わる記念品を購入し、提供。

※室蘭、小樽の炭鉄港に関連する記念品は、それぞれ室蘭市、小樽市から提供された。

《実施状況》

1　内容

記念品：炭鉄港エリア自治体の記念品詰め合わせ

このうち、以下の特産品を購入。

◇購入記念品◇

立坑タオル　10枚　13,000円

塊炭飴　　10袋　　3,780円

事業名	副読本「おしえて！炭鉄港」増刷【完了】
事業費	221,100円

【目的】

「鹿児島相互交流事業」での活用及び既に配布済の各構成市町以外の希望者あて配布による炭鉄港の普及促進を図る。

【実施内容】

・副読本「おしえて！炭鉄港」の増刷

《実施状況》

1　内容

◇副読本◇

仕様：A4判・中綴じ36頁・カラー・マットコート紙60kg

部数：1,000部

2　配布状況

「鹿児島相互交流事業」の学習会及び交流会関係者あて配布。

事業名	炭鉄港PR横断幕製作【完了】
事業費	499,000円

【目的】

各構成市町の駅・道の駅等の拠点施設に共有デザインの横断幕を掲げることにより、各構成市町間の団結力向上及び来訪者への炭鉄港の更なる普及啓発を図る。

【実施内容】

・横断幕デザインの制作及び印刷

※デザイン委託費：70,000円、印刷代429,000円。

《実施状況》

1　制作内容

◇横断幕◇

仕様：縦1456mm×横2060mm（B判比率）・ターポリン・片面カラー・ハトメ加工、
上下棒袋縫い加工
屋内・外の掲示に対応でき、イベントや各市町庁舎等、幅広く活用可能。

部数：30枚

2　配布状況

炭鉄港推進協議会の12市町及びNPO法人炭鉱の記憶推進事業団、後志総合振興局、胆振総合振興局あて配布予定（令和３年４月）。

事業名	そらち炭鉱のまちガイドマップ改訂版の製作【完了】
事業費	447,500円

【目的】

令和２年度炭鉄港推進協議会事業において製作・配布した「炭鉄港カード」の影響を受け、日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業のKPIにも設定している「炭鉄港の記憶マネジメントセンター（岩見沢市）」への入込客数が急増するに伴い、当管内の炭鉱遺産を紹介する「そらち炭鉱のまちガイドマップ」（平成27年度道費製作）の需要が増加。

令和元年度の日本遺産認定後の現況を反映させた情報の追記及び掲載情報の時点更新を兼ねた改訂版を製作し、炭鉱の記憶マネジメントセンターを始めとする各構成紙町経由で書く関連施設へ配布し、炭鉄港の更なる普及促進を図る。

【実施内容】

・そらち炭鉱のまちガイドマップ改訂版製作に係る監修及び印刷

※監修費200,000円、印刷代：247,500円

《実施状況》

1　制作内容

表

裏

◇ガイドマップ◇

仕様：B2判・観音２つ折り加工（折り上がりB5判）・マットコート紙70kg・両面４色カラー

部数：3,000枚

2　配布状況

炭鉄港推進協議会の12市町及びNPO法人炭鉱の記憶推進事業団、産炭地関連地域5市町あて配布。